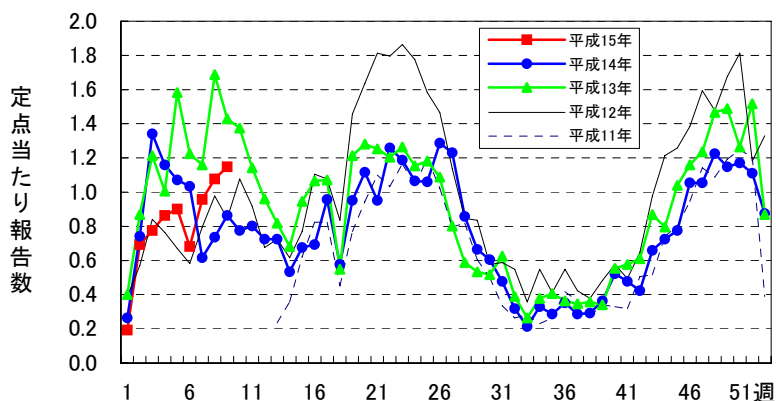


流行状況

- **A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎** *レンサ球菌のうち血清型分類の A 群に分類されるものによる上気道感染症
定点当たりの報告数は 1.15 (前週 1.08) と増加傾向

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



- **感染性胃腸炎**
定点当たりの報告数は 8.4 (前週 8.2) と増加傾向
- **インフルエンザ**
定点当たりの報告数は4.7 (前週 7.7) と更に減少しています。
定点の先生方からのコメントでは、インフルエンザ B 型が散見されます。

厚生労働省インフルエンザ対策キャンペーンホームページ

インフルエンザQ&A、キャンペーンポスターなどがダウンロードできます。

<http://influenza-mhlw.sfc.wide.ad.jp/>



感染症についての説明及びグラフ総覧については、
愛知県衛生研究所のホームページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/>)

定点の先生方からのコメント

尾張西部地区

- 病原性大腸菌 O1 8歳女、57歳女
病原性大腸菌 018 10ヵ月男
病原性大腸菌 O20 1歳女
病原性大腸菌 O24 7歳女
【尾西市 城後小児科】
- 感染性腸炎まだ多いです。
インフルエンザは B 型が 1 名のみ
仮性クループ数人ありました。
【一宮市 あさのこどもクリニック】
- 9歳男マイコプラズマ肺炎がありました。
6歳女の EB ウイルスがありました。
インフルエンザは激減しました。
【一宮市 田中内科小児科医院】
- インフルエンザはピークをすぎました。
【一宮市 医療法人かすが内科】
- インフルエンザ B 型 3歳男
【犬山市 武内医院】
- インフルエンザ ほとんどみられなくなりました。（1名のみでした。）
嘔吐を伴う感染性胃腸炎の流行が続いています。
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
- インフルエンザは 14 例 A 型 2 例、B 型 12 例と B が目立っています。
師勝のある小学校では、1年生に小流行
ウイルス性胃腸炎も目立っています。
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
- 1歳1ヵ月女 1歳4ヵ月女 1歳6ヵ月男 ロタウイルス（+）でした。
4歳男 2歳2ヵ月男 16歳女 マイコプラズマ感染症
【春日町 丹羽医院】
- マイコプラズマ 9歳女
【師勝町 師勝クリニック】
- 30歳男 インフルエンザ AB 混合感染 他はすべて B 型
【新川町 三輪医院】
- インフルエンザは B 型
【師勝町 田中クリニック】

尾張東部地区

- カンピロバクター＋病原大腸菌O101 15歳男
インフルエンザ6例中、A型5例（内1例は75歳でワクチン接種済）、
B型1例
【瀬戸市 津田こどもクリニック】
 - インフルエンザB型 6ヵ月 1名
【瀬戸市 公立陶生病院】
 - インフルエンザ激減
溶連菌感染症流行中、水痘も流行中
マイコプラズマ感染症数例あります。
今週は嘔吐を主訴に来院する症例が少し目立ちました。
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
 - 2/24 29歳男 B型インフルエンザ認む
3名ともB型インフルエンザ
【豊明市 豊明団地診療所】
 - インフルエンザ減少
水痘少々
手足口病少々
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
 - 今週はインフルエンザBの方が多くみられました。
【春日井市 かがわ北病院】
 - 感冒性胃腸炎（ロタウイルス中心）多し
インフルエンザ激減
溶連菌感染少しずつ増えてきている。
【小牧市 小牧市民病院】
 - インフルエンザは先週A型7例、B型5例、今週はA型6例、B型7例と
B型が目立ちます。
【小牧市 志水こどもクリニック】
 - 感染性胃腸炎増加
インフルエンザ漸減
【南知多町 医療法人大岩医院】
- <性感染症定点コメント>
- 夫婦単位の感染もありました。
【東郷町 医療法人バク諸輪診療所】
-

西三河地区

- ロタウイルス腸炎 8ヵ月女、10歳男
ロタウイルス抗原(+) 1歳女、3ヵ月男
チェックAd(+) アデノウイルス感染 4歳男、3歳男
病原大腸菌O1 10ヵ月女
ディレクティジェンRSV(+) 8ヵ月女(急性細気管支炎)
インフルエンザA 11ヵ月男
インフルエンザB 3歳男
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
 - 伝染性単核球症 2歳男
【豊田市 医療法人やふそ小児科】
 - 3歳女 カンピロバクター
6歳女 ロタウイルス
1歳男、6歳女 病原性大腸菌 O18
1歳女 ロタウイルス
【岡崎市 医療法人深田小児科】
 - 3歳女 病原大腸菌O1
ロタウイルス感染症増加
インフルエンザは殆どB型です。
【岡崎市 花田こどもクリニック】
 - B型インフルエンザ 6名
7歳男 アレルギー性紫斑病
3歳女 病原大腸菌O1 VT(-)
2歳女 病原大腸菌O6 VT(-)
6歳女 病原大腸菌O146、O16 VT(-)
9歳女 病原大腸菌O25 VT(-)
【岡崎市 にいのみ小児科】
 - A型インフルエンザ 2名
B型インフルエンザ 4名
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
 - インフルエンザB型1名 ワクチン接種済
インフルABクイック B(+)
【岡崎市 永坂内科医院】
 - インフルエンザA型3名、B型3名
【岡崎市 村山医院】
 - 5歳 ロタ(+)
【刈谷市 田和小児科】
 - 嘔吐を主症状とする胃腸炎が目立ちます。
水痘増加
【碧南市 永井小児クリニック】
 - インフルエンザA型1名、B型2名
感染性胃腸炎が増加
【西尾市 やすい小児科】
-

- 感染性胃腸炎が今週も目立ちました。
インフルエンザ A型1人、B型4人

【西尾市 山岸クリニック】

- 6ヵ月、1歳2名、6歳男、3ヵ月、1歳、2歳女 ロタウイルス性胃腸炎
1歳男 アデノウイルス性腸炎

【幸田町 とみた小児科】

- 7歳女 マイコプラズマ肺炎

感染性胃腸炎、溶連菌感染症は流行していますが、インフルエンザの流行は終わってしまいました。

【三好町 三好町民病院】

東三河地区

- インフルエンザは全てB型でした。嘔吐の患者が多く見られます。

【豊橋市 あずまだこどもクリニック】

- 大腸菌O111（3兄弟）6歳女、4歳男、2歳女 VT1(-)、VT2(-)
FluB 散発

2歳女：5歳の姉FluBの為、2/20からタミフル内服（4日分）、2/24から発熱、2/27から下熱傾向、2/28 FluB（+）

【蒲郡市 蒲郡市民病院】

1～3類感染症の発生状況（愛知県）

- 細菌性赤痢

番号	報告 保健所	年齢	性別	発病 月日	初診 月日	診定 月日	菌型等	備考
1	豊橋市	21	女	2/25	2/28	3/2		

全数把握の4類感染症の発生状況（愛知県）

- 急性ウイルス性肝炎 B型 感染経路不明

第7週(15年2月10日~2月16日)の4類感染症 (全国)

定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比べて特別多い疾患はなかったが、風疹の定点当たり報告数が前週の2倍に増え、岡山県(0.5)からの報告が半数を占めた。麻疹(成人麻疹を除く)の定点当たり報告数は全体としては大きな変化はないが、宮崎県(前週の0.4から0.8)からの報告数が2倍に増加している。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は、秋田県(前週の1.6から2.6)からの報告が増えている。感染性胃腸炎と水痘の定点当たり報告数は全国的にはわずかながら減少したが、前者は依然として15都道府県から2桁の報告があり、特に大分県(第3週8.9から20.1)では4週連続して定点当たり報告数が増加した。後者は、2週間連続して沖縄県(7.2)と宮崎県(4.2)で大きく増加し、九州・沖縄地域で定点当たり報告数が3.14と他地域の約2倍となった。インフルエンザは3週連続で定点当たり報告数が減少し、20.4となった。広島県(5.7)を除くすべての都道府県で定点当たり報告数は2桁であるが、秋田県(前週の28.1から29.7)以外の都道府県では前週より減少した。成人麻疹と急性脳炎(日本脳炎を除く)の定点当たり報告数は減少した。

(Infectious Diseases Weekly Reportより抜粋)

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供)

詳細は感染症情報センターのホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/kanja/index-j.html>)の感染症発生動向調査週報をご覧ください。

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

駅や電車の中で花束を持った大学生に沢山出会うようになりました。卒業式のシーズンです。自分達だけで来ている学生、お母さんと二人連れの仲良し親子、ちょっと照れているお父さんなど、色々ですが頑張って欲しいと見送ったりしています。ところでいつも貴重な情報をありがとうございます。2 月後半のまとめをお送りします。

- 1) 名古屋市：城北病院渡辺先生からはインフルエンザ様疾患は殆どなくなったが、インフルエンザ様の感冒後 C R P 上昇した細菌性（？）肺炎・気管支炎が散見、要入院例も目立ち、マイコプラズマ肺炎も散見、百日咳がちらほらあり、川崎病が最近多く、水痘が散発中で施設内発生あり、第二日赤岩佐先生からはインフルエンザは少なくなり、とくに A 型は殆どいなくなり、入院ではロタウイルス腸炎が多い、千種区今枝先生からはインフルエンザの発生なし、感染性胃腸炎時々、突発性発疹 1 例、ウイルス性発疹症 1 例（女児 8 歳、発疹は風疹様）とのお手紙をいただきました。
- 2) 尾張地区：犬山市武内先生からはインフルエンザは減少したが B 型が散見、感染性胃腸炎がやや増加、水痘と A 群溶連菌咽頭炎が散発中、江南市からはインフルエンザ A 型は減少、B 型時々あり、ロタウイルスによる下痢嘔吐症（入院例多い）、RS ウイルス感染症、水痘、ムンプス、溶連菌感染症、マイコプラズマ肺炎（インフルエンザに引き続いた合併例あり：昭和病院西村先生、愛北病院露木先生、常滑市民病院上田先生からはインフルエンザは下火となりロタウイルスを含む胃腸炎（要入院例目立つ）、ムンプス、突発性発疹、マイコプラズマ肺炎、水痘などが目立つとのお手紙でした。
- 3) 三河地区：トヨタ病院木戸先生からはロタウイルス感染症（要入院例や瘰癧合併例あり）、インフルエンザ以外の高熱のウイルス感染症目立つ、加茂病院梶田先生からはインフルエンザ B が散発、水痘、溶連菌感染症、ムンプスが散発、ロタウイルス性腸炎（要入院目立つ）増加、岡崎市民病院瀧本・近藤先生からはインフルエンザ B 型散発（要入院例あり）、ロタウイルス感染症（要入院あり）散発、ムンプス散見、碧南市永井先生からはインフルエンザ激減、嘔吐下痢症が目立ちロタウイルス陽性例もかなりいる、豊橋市宮澤先生からはロタウイルス腸炎がしっかり流行、B 型インフルエンザが少数あり、同長屋先生からは異型麻疹の疑いの入院例 1 例とのお手紙でした。有難うございました。

2003 年 1 月 31 日 (78 巻 5 号)

☆ 新生児破傷風根絶。インド・ラジャスタン州 (ラ州)。ラ州では 85 年に新生児破傷風対策として妊婦を対象に破傷風トキソイド (TT) 2 回以上接種が開始された。以来定期接種率は良好であるが相変わらずラ州は新生児破傷風多発地区 (根絶目標は千出生あたり < 1) であり、今回ラ州保健省はユニセフの協力で定期接種 + 臨時接種 3 回を 98 年 4 月と 5 月、さらに 99 年 4 月に実施した。対象は 15 - 30 歳の女性、農村部とトンク市など多発地区の都市部で接種率は 80% 以上であった。本報は WHO、ユニセフの指導のもとにラ州保健省による調査結果の概略である。① 調査: WHO・ユニセフの調査用紙による居住地区単位のサーベイランス。② 新生児破傷風死亡: 激減。③ TT 接種率: 定期接種と臨時接種の接種率合計は 1 回が 78%、2 回が 67% であった。④ トンク市地区病院における新生児破傷風の患者 65 例の調査: 自宅分娩 68%、未熟な助産婦・不潔な介助・不潔な臍帯処置、いずれも 40%、臨床像として哺乳困難 / 痙攣など 80 - 90%、治療として抗血清が投与されたのは 28%。⑤ 注射器材の処理: 調査された 1 病院では焼却処分されていたが、地区の全体像は不明。⑥ まとめ: トンク市のような多発地区で激減していることから今後の根絶計画の進展、調査 (基本的な調査が少ない) が期待される。

2003 年 2 月 7 日 (78 巻 6 号)

☆ 髄膜炎菌髄膜炎。ブルキナファソ。03 年 1 月 1 日 - 26 日、同国保健省報告で 980 例届出 (死亡 196 例)。髄膜炎菌 W135 型陽性 10 例、肺炎球菌陽性 8 例、インフルエンザ桿菌陽性 4 例であった。保健省では流行地区のクロマイ投与、発生状況調査、保健担当者の教育を実施中。

☆ 報道関係者研修。エボラ出血熱、ポリオ根絶、生物兵器と天然痘、禁煙問題、途上国における心疾患、マラリア、結核、HIV、貧困と紛争など、など報道の対象となっている問題点は多岐にわたっている。03 年 10 月、WHO 本部で 3 週間にもわたり報道関係者を対象に研修が行なわれた。本報は内容の概略と報道担当者として登録するための申込書の紹介である。

☆ 狂牛病。消費者が確認すべきポイント 8 点: 03 年 1 月 30 日、WHO による行政担当者と消費者を対象としたコメント。狂牛病発生に際して、① 餌は何か、② 行政は狂牛病サーベイランスができるか、③ 輸入例か、④ 若い牛か、⑤ 処分されているか、⑥ 周囲の伝播予防措置、⑦ 狂牛病病原保有の可能性ある食肉が他にないか、⑧ 安全性の確保。

☆ インフルエンザ: 03 年 1 月。チェコ、デンマーク、フィンランド、アイスランド、イスラエル: いずれも A 型と B 型でワクチン類似株。日本: A 型主体。ノルウェー、ポーランド、ルーマニア: A 型と B 型、ロシア: A (H1N1)、A (H3N2)、B 型、スペイン: B 型主体、英国: B 主体で一部 A (H3N2)、米合衆国: A (H1) 主体。

☆ 1 月 31 日 - 2 月 6 日届出。コレラ: 象牙海岸、ウガンダ、インド、グアム (輸入例)。黄熱: ボリビア、ブラジル、コロンビア、ペルー。

